

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

令和2年5月理事会議事録

日 時	令和2年5月13日(水) 15:00~16:30		
開催場所	Zoom会議室		
<出席理事・監事>			
会 長	荻原 紀男	株式会社豆蔵ホールディングス	
筆頭副会長	水谷 学	ピー・シー・エー株式会社	
副 会 長	青野 慶久	サイボウズ株式会社	
	伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト	
	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社	
	田中 啓一	日本事務器株式会社	
	豊田 崇克	ネクストウェア株式会社	
	山本 祥之	株式会社インテリジェント ウェイブ	
専務理事	笹岡 賢二郎	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会	
名誉会長 理事	和田 成史	株式会社オービックビジネスコンサルタント	
理 事	牛田 勉	SAPジャパン株式会社	
	襟川 芽衣	コーエーテクモホールディングス株式会社	
	大塚 桂一	インテル株式会社	
	大三川 彰彦	トレンドマイクロ株式会社	
	岡本 浩一郎	弥生株式会社	
	小川 敦	株式会社アール・アイ	
	加藤 智巳	株式会社ラック	
	木田 徳彦	株式会社インフォテック・サーブ	
	北原 佳郎	ラクラス株式会社	
	小柳 諭司	株式会社内田洋行	
	杉原 佳堯	Netflix株式会社	
	杉本 淳一	株式会社コスモ・コンピューティングシステム	
	瀧 進太郎	BBソフトサービス株式会社	
	中村 憲司	株式会社大和コンピューター	
	原 洋一	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会	
	板東 直樹	アップデートテクノロジー株式会社	
	東尾 公彦	コナミホールディングス株式会社	
	千瀨 康夫	TAC株式会社	
	藤井 洋一	日本ナレッジ株式会社	
	別所 直哉	ルークコンサルタンツ株式会社	
	松倉 泉	株式会社Harness LLP	
	村瀬 正典	株式会社バース情報科学研究所	
	吉田 一也	株式会社アスペックス	
監 事	齋藤 康之	税理士齋藤康之事務所	
	三木 剛	中本総合法律事務所 東京事務所	
オブザーバー	田中 久子	SOMPOシステムズ株式会社	
事務局	井上、西村、戸島、中野、横井		
<欠席理事・監事>			
理 事	浦川 伸一	SOMPOシステムズ株式会社	
	大塚 裕司	株式会社大塚商会	
	菅谷 俊二	株式会社オプティム	
	富田 祐子	センターフィールド株式会社	
	八剣 洋一郎	株式会社ワークスアプリケーションズ	
監 事	山田 隆明	山田隆明公認会計士事務所	

議事

定款第 34 条に基づき荻原紀男会長(代表理事)が議長となり、開会を宣言した。原洋一理事・事務局長から、理事 38 名中オンライン出席も含め 33 名出席の為、定款第 35 条に基づき、理事会が適法に成立した旨の報告があった。また、議事録作成後、定款第 37 条に基づき、本理事会に出席のあった荻原紀男会長、齋藤康之監事、三木剛監事が、議事録署名人として記名押印する旨、説明の後、議事に入った。

審議事項 1 追加理事候補の推薦について

笹岡賢二郎専務理事より、3 月理事会で提案承認された理事候補 38 名の他に、以下 3 名を追加で推薦したい旨提案があり、原案通り承認され、6 月 10 日の総会に建議することが承認された。新理事を推薦いただいた理事から、各新理事候補について略歴等の紹介があった。

○新理事候補

- ・中谷 昇 ヤフー株式会社 執行役員
Zホールディングス株式会社 執行役員 グループ最高情報セキュリティ責任者
- ・荻原 健太 インターバルリンク株式会社 代表取締役
グローバルセキュリティエキスパート株式会社 CSO 兼 CSRO
- ・細井 智 日本マイクロソフト株式会社 執行役員 常務 デジタルトランスフォーメーション事業本部長

審議事項 2 役員候補(会長・筆頭副会長・副会長・専務理事)の選任について

笹岡賢二郎専務理事より、6 月総会における理事改選に伴い新役員候補について提案があり、原案通り承認された。新役員候補は以下の通り。なお、新役員は、総会終了後の臨時理事会で最終承認となる。

再 会長(代表理事)	荻原 紀男
再 筆頭副会長(代表理事)	水谷 学
再 副会長(理事)	青野 慶久
再 副会長(理事)	伊藤 裕二
再 副会長(理事)	田中 邦裕
再 副会長(理事)	豊田 崇克
新 副会長(理事)	杉本 淳一
再 名誉会長(理事)	和田 成史
再 専務理事(業務執行理事)	笹岡 賢二郎

審議事項 3 令和元年度事業報告(案)、決算報告(案)について

笹岡賢二郎専務理事より、資料に基づき令和元年度事業報告(案)と決算報告(案)について説明が行われた。続いて、齋藤康之監事より、4月27日に事務局において、2019年度の会計及び業務内容の監査を行った結果、特に問題はなかったとの報告がなされ、質疑応答を経て、令和元年度事業報告(案)と決算報告(案)については、原案通り承認された。

審議事項 4 令和 2 年度事業計画・予算の一部修正について

笹岡賢二郎専務理事より、3 月理事会で承認された事業計画、予算の修正について、資料に基づき説明された。大きな変更点は以下の 3 点。

1. 厚生労働省「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の受託
2. 新型コロナウイルス対策予備費および CSAJ 将来ビジョン検討会での意見を受けて今年度実施する環境等の整備費用
3. その他

「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の受託における 3 年間の計画及び、収支について詳細説明が行われた。荻原紀男会長より、新型コロナウイルスの影響によって、労働保険特別会計の収支が悪化して令和 3 年度以降予算が下りるのかを懸念していると、意見を頂いた。笹岡賢二郎専務理事は、3 年契約であり問題ないと回答した。

また、荻原紀男会長より、委託先に理事会社が含まれることについて、利益相反の観点から理事会での承認があわせて確認され、令和 2 年度事業計画・予算の一部修正については原案通り承

認された。

審議事項 5 令和 2 年度定時総会について

笹岡賢二郎専務理事より、令和 2 年度定時総会については、新型コロナウイルスの感染拡大予防を考慮し、以下の通り会場の変更、開催時間の短縮、参加者の制限、などにより開催してはどうかとの提案があった。また総会後の特別講演及び懇親会は、6 月の開催は見合わせとし、9 月の会員交流会時に時期をずらして開催してはどうかとの提案があり、原案どおり承認された。

《第 35 回定時総会》

会期：令和 2 年 6 月 10 日（水）15 時開始

会場：一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 3 階会議室

＜総会の議案＞

決議事項 第 1 号議案 令和元年度事業報告および決算報告承認の件

第 2 号議案 令和 2 年度・3 年度 理事・監事の選任について

報告事項 1. 令和 2 年度事業計画および収支予算書について

2. 令和 2 年度 CSAJ 功労賞等の受賞者発表

＜総会の開催方法＞

- ・参加は、会長、筆頭副会長、副会長、専務理事および監事とする。
- ・正会員の出席は遠慮していただき、事前に議案書等を送付し、議決権行使書の提出をもとめ、半数以上の回収で総会を成立させる。
- ・当日は総会終了後にオンラインによる臨時理事会を開催し、会長はじめ副会長等を決定し、後日 Web 等で会員報告

豊田崇克副会長より、会員交流会の日程について質問があり、笹岡賢二郎専務理事より 9 月 9 日に The Okura Tokyo で開催する予定と回答した。

審議事項 6 令和 2 年度 CSAJ 功労賞等候補の選定について

笹岡賢二郎専務理事より、令和 2 年度 CSAJ 功労賞等候補者については、総務委員会から挙げられた候補者として、6 月総会時に退任する 2 名の副会長に授与してはどうかとの提案がなされ、原案どおり承認された。

《令和 2 年度 CSAJ 功労賞等》

役員功労賞：田中啓一氏、山本祥之氏

審議事項 7 新入会員承認(会員紹介状況報告)について

笹岡賢二郎専務理事より正会員として入会を希望する 1 社について説明があったが、これに対する意見が出たため、承認は一旦保留となり、後日、事務局にて同社と調整が行われ、その結果、特別賛助会員として入会することが決定した。入会が決定した企業は、以下の通り。

特別賛助会員（1 社）

華為技術日本株式会社

また、荻原紀男会長より会員数が昨年度末より、45 社減っていることは忌々しき事態であり、CSAJ がどんなサービスを提案できるかを真剣に考えなくてはならない。今後新型コロナウイルスの影響で、経営悪化の企業が退会を申し出る際には是非引き留められる様にしたいと、理事への協力を呼び掛けた。

なお、本理事会での入会承認が得た場合の会員総数は 631 社（有料会員数は 576 社、準会員 55 社）となる旨報告があった。

次に、笹岡賢二郎専務理事より、理事による入会企業紹介数について資料に基づき説明があり、3 社以上紹介（準会員は除く）して頂いた理事へ、荻原紀男会長より感謝状を授与する旨、報告があった。感謝状が授与される理事は以下の通り。

伊藤 裕二副会長 2019 年度紹介 8 社

板東 直樹理事 2019 年度紹介 3 社

富田 祐子理事 2019 年度紹介 3 社

杉本淳一理事からは、「休会」について質問があり、笹岡賢二郎専務理事より、今後検討したいとの回答があった。

報告事項 1 1. CSAJ 将来ビジョン検討会を踏まえて

萩原紀男会長より、検討会で提案されていた団体名称変更については、新型コロナウイルス感染拡大を考慮した今年の総会での決議は行わず、来年の総会に変更する旨説明があり、2022年までには会員企業を800社にし、圧倒的影響力を持った団体を目指したいと発言された。また、地域IoT推進委員会と連携してミーティングを行い会員を拡大していこうと考えていると発言され、理事の皆様へ、Slack上でCSAJの将来ビジョン検討について活発な意見交換の協力を依頼した。

豊田崇克副会長より、地方拡大委員会のミーティングの定義については、総務委員会で別途相談したいと発言された。

報告事項 2 新型コロナウイルス対策について

笹岡賢二郎専務理事より、資料に基づき、CSAJの新型コロナウイルスの対応についての説明とセミナーの延期や中止について報告が行われた。

報告事項 3 その他

その他の事項について、笹岡賢二郎専務理事より資料に基づき報告が行われた。今後の理事会等スケジュールについては、理事・監事各位へご予定いただくよう依頼するとともに、現在募集しているセミナーへの参加協力等をお願いした。

1. IT導入支援事業 特別枠(C類型)について
2. ジョブ型研究インターンシップ
3. 事務局組織について
4. 後援名義等使用申請
5. 今後のセミナー等の開催予定
6. 今後のスケジュール

なお、「1. IT導入支援事業 特別枠(C類型)について」では、萩原紀男会長より補足で、テレワーク導入率が8割に達しない現状に対し、インサートセールスツールの導入とテレワークの環境整備に投資した分に関して、4月7日の時点まで遡って、IT導入補助金の対象となるので申請ができるようになったと説明があった。

議長が以上の討議をもって本日の議事が終了した旨を述べ、散会した。

なお、議事の経過および決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事・会長(議長)および監事がこれに記名押印する。

令和2年 5月 日

一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会

代表理事・会長(議長)

印

監事

印

監事

印

監事

印